

2017 大阪言語ユーザー会で作られた事例集

・Speaking + Writing

・言語活動絵本作成プロジェクト

- ・数名のグループを作る。
- ・一人一枚ずつ、好きな絵を描く。
- ・描いた絵を全員で「送る」共有し、つなぐ。
- ・絵から各自、自由にストーリーを作成する
(ストーリーが成立しない場合には、1枚だけ追加で絵をかいてもOK)
- ・ストーリーが出来上がったら、音声を吹き込んでムービー作成。

・「好きなお城」プレゼンテーション

(グループワーク)

- ・webカードなどを使って、
- ・自分の好きなお城についてのプレゼンテーションを
- ・4枚以上のカードをつかって作成。
- ・4人一組の班で、
モデレーター、プレゼンター、ビジュアルメーカー、コントリビューター
に役割分担をしてプレゼンテーションの作成、発表を行う。

・地図をつかったプレゼンテーション

- ・以下の問題文のかかれたテキストカードを配る。
 - ・Choose place where you want to go.
 - ・Show the place on the map.
 - ・Show a picture by using the web search.
 - ・Write and record why you chose the place.
- ・地図カードをつかって、世界の中で生きたい場所を示し、
その場所の特徴、名物などをwebカードを使って示し、
そこに行きたい理由をテキストカードに書き込む
- ・上記カードをすべてつないで、プレゼンテーションを作成。
それぞれのカードに音声を録音して提出させる。

・インタラクティブ・ストーリーテリング

- ・ロイロのwebカードで画像を収集。
- ・グループで集めたカードをシェア、選抜し、カードをつなげて
ストーリーを作る。
- ・ストーリーは場面の転換ごとに、クイズのカードをはさみ、
一方的に語るのではなく、オーディエンスに問いかけ、クイズに答えて
もらうことで場面を進行させる。

・3コマストーリーテリング

- ・3コマ漫画と状況を説明した文章を生徒に配布。
- ・各カードにテキストを書き込み、ストーリーを作成する。
- ・できあがったストーリーをもとに、プレゼンテーションを行う。
- ・発表後、生徒はプレゼンテーションを提出。
先生は、プレゼンテーションに書き込まれた文章の
文法上の誤りを指摘したり、もっと的確な表現に添削して返却

・単語からスキット作成

- ・1つの単語を提示。
- ・提示された単語を使った作文を作って教員に提出。
- ・教員は、作文カードに音声を吹き込んで生徒に送る。
- ・生徒は教員の音声をもとに発音を練習した後、音声を上書きして教員に提出。
- ・教員はイントネーションなどをカードに添削して生徒に返却
- ・生徒は添削内容をみてさらに練習。
- ・さらに、その文章を使ったスキットを作成して録画・提出。

・Guess What?

- ・ペアを作る。
- ・お互いに、内緒でお題を考えて、
ヒントカード、答えカードを用意しておく。
- ・内容を類推できるようなクイズを出し合って中身を当てていく。

※ 個人的に、このクイズ展開は、「答える側は、YES,NO」しか
答えられないとかいう縛りをつけておくと
文章の作り方や、ゲーム性も含めて面白いのかなと思いました。

・みんなでインタビュー

- ・キーフレーズを設定して、クラスメイトに英語でインタビューする
- ・インタビューの統計結果を、ロイロをつかってプレゼン資料を
作成して、説明する。

(例:キーフレーズ

『Which do you like better, cats or dogs?』

生徒はこのフレーズを使って、クラスメイトにインタビュー。

たとえば、8人聞いたうち、3人が猫が好きだったら、

猫が好きだと答えた3人の写真をとり、

この人たちが猫が好きだと答えました。案外すくなくてがっかりです

みたいなプレゼンをする)

・スキットを使って英語の会話量を増やそう！

- ・短いスキットの動画を流す。

(取り上げられていた例

題材:洋服を試着して

A: Can I try this jacket on?

B: Sure.

(A試着)

B: It looks good on you.

A: What do you think?

- このAに対する答えの例をさらに動画でいくつか見せる)
- ・生徒は動画の中で気に入ったフレーズを選んで、
自分でも同じようなスキットを作って、録画して提出する。

英語でアテレコ！

- ・漫画や動画を用意。
- ・動画または漫画のセリフを英語に訳して、
カードに吹き込んで提出。
- ・慣れてくると、落語などのワンシーンを英語でアテレコしても楽しい。

フラッシュスピーキング(即興アテレコ)

- ・音声を消した短い動画を見せる
- ・生徒はその動画をみながら、英語でその動画を瞬時に説明していく。
(正確性よりも流暢性、即興性の訓練として行い、
場合によっては2回3回と同じ動画を繰り返して行う。)
- ・録音したものを教員に提出。
- ・教員は提出されたものをクラスでシェアする。
- ・生徒はシェアされたものから表現をお互いに学びあう。

・Writing

・三単現のsを学ぼう

- ・アイスブレイク・イントロダクション
: 子供たちにペアを作らせて、「好きなもの」について話をさせる。
- ・教員から、三単元のsを意識した文章のカードに音声を吹き込んだものを送信。
発音の確認をする。
- ・子供たちに以下の4枚のテキストカードを配る。
 1. I like Sushi. Mary likes apples.のように
主語が3人称になると同じ動詞でもsがつくことがわかるカード
 2. I play soccer. Mary plays tennis.のように、
違う動詞であっても、3人称になるとsがつくことがわかるカード
 3. They play soccer.のように
3人称であっても、複数であればsがつかないことがわかるカード
 4. She goes to Kyoto.のように、esがつく動詞のカード

- 上記4枚のカードをもとに、子供たちはどのような規則性に従って
動詞にsやesがつく場合があるのか、グループで検討し、
規則性を考えてテキストカードに書き込んで提出する。
- ・出されたカードをもとに、先生は提出箱の「比較」機能をつかって、
各班の意見を比較する。
 - ・全体で三単現のsの規則性を確認した後で、
例文のカードを配布し、音声を録音させて提出・添削

・コメントを付けていこう

- ・イラストや、webカードが何枚かつながったものを生徒に配布
- ・生徒は各カードにコメントを書き込んで、提出。
- ・提出されたコメントつきカードをみんなで見ていく。

・ディベートをしよう！

- ・お題を設定。賛成側、反対側にわかれる。
- ・賛成側はピンクのカードに賛成の理由を書いていく
- ・反対側は青のカードに反対の理由を書いていく。
- ・賛成側、反対側でペアになって、カードを送りあう。
- ・賛成側は送られてきた青のカードをピンク色に変えて、反対側を打ち消す理由を書いていく。
- ・反対側は送られてきたピンクのカードを青色に変えて、賛成側を打ち消す理由を書いていく。
- ・元のカード＋色を変えた反対意見のカードを提出。
- ・提出されたカードをオーディエンスが見て、どちらの意見が説得力があるかジャッジ・投票して勝敗を決める。

夢の校則

- ・自分たちが実現したい校則を考えて、英語で書いて提出。
(校則は、〇〇を許可する、〇〇を禁ずるなどの表現が多いため、必然的に助動詞をたくさん使うことになる。)
- ・提出された校則の中で実現してほしいものを投票して夢の校則を決定。

前置詞のイメージを作ろう

- ・9個の文をバラバラに区切ったカードを配る。
- ・そのカードを組み合わせて3つの文を作る。
- ・文に対してイラストの説明を付ける。
(前置詞なので、イラストのイメージがすごく大切)
- ・できた文と絵を提出してもらって、共有する。